

Donald McDonald House Charities Japan

Annual Report 2014

2014年 年間報告書

40
years

Philadelphia House since 1974

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン



財団設立の趣旨

現在、難病に苦しむ子どもの数は全国で20万人に及んでおり、
その難病の子どもを持つ家族まで数えると、悩んでいる人はその数倍もいることでしょう。
これらの家族は、子どもが入院すると、
自宅と入院先との二重生活による経済的な負担、家族が離れて暮らす精神的苦痛など、
大きな負担に悩まされることになります。
このような家族を少しでも支援するために、
公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは設立され、
子どもが入院する病院の近くに家族が安心してくつろげる滞在施設を建設し、
ボランティアによって運営するという活動をしています。
ドナルド・マクドナルド・ハウスは世界的な広がりを持つ活動で、現在、世界には350近いハウスがあります。
以上のように、この公益財団は、
患者家族の負担を社会全体で支援する仕組みづくりに
寄与することを目的としているのです。



財団の概要

- 名 称： 公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
所 在 地： 東京都新宿区西新宿 6 丁目 5 番 1 号 新宿アイランドタワー39階
目 的： 本財団は、難病およびその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成並びにその家族等に対し必要な施設の設置等の措置を講じ、その有効適切な運営を行うこと等により、もって地域社会における支援体制の確立に寄与することを目的とする。
事 業： ①難病児及びその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成事業
②福祉、医療分野等におけるボランティアの国際交流、国内外研修にかかる助成事業
③前号におけるボランティア活動を振興するための普及啓発事業
④難病児及びその家族等のための滞在施設の設置、運営及び助成
⑤その他前条の目的を達成するために必要と認める事業
設 立： 平成11年4月1日
行 政 庁： 内閣府

Contents

目 次

1	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンについて Donald McDonald House Charities Japan
2	目 次 Contents
3	ハウスへの手紙 Letter
5	祝 辞 Special Message
6	ご挨拶 Message
9	全国のハウス紹介 House information
19	40周年記念 40th Anniversary
22	募金プロジェクト Special Project
23	トピックス Topics
29	助成事業 Grant
30	応援メッセージ Messages from Supporters
31	家族からのメッセージ Messages from Families
33	決算報告 Financial Report
36	役員・選考委員名簿 Board of Directors, Councilors and Selection Members
37	サポーター紹介 Supporters

「ぼくとマックのお家」

ぼくは、3歳の時、はじめて入院した。最初苦しくて、辛くて、ずっとお母さんが病院で泊まって、一日中そばにいてくれて、自然と涙が出て止まらなかった。

でも、入院生活にも慣れてきたある日、お母さんが「マクドナルド・ハウスに泊まっていいい？」と聞いたので、ぼくはずるいと思った。だって、マックのお家は、ぼくの大すきなチキンナゲットやポテトがいっぱいある所だと思ったからだ。そしたら、お母さんが大笑いして、ぼくを抱っこして、病室の窓から外を指さして言った。

「マクドナルド・ハウスはあそこだよ。ママが夜、寝るお家だよ。」と思わずぼく



も笑ってしまった。ぼくでも、歩いて行けるくらい近いところだし、お母さんは夜中でもぼくが来てほしい時にいつでも来れる所だとわかったので、本当は不安だったけれど、「いいよ。」と言った。



それから、ぼくが一年半入院していた間、お母さんは毎日7時の朝食前に病院に来て、ぼくが目を覚ますと、自分の家にいる時みたいに、「おはよう。」と笑顔で言ってくれた。そして、ぼくが夜「おやすみ。」とねてしまうまで、ずっとそばにいてくれた。治療で苦しい時も、マックのお家は近いから、夜中でもぼくがちょっとねているときだけ、マックのお家で休んで、またすぐに来てくれた。もし、お母さんがぼくの本当のお家に帰ってしまっていたら、絶対にこんなことはなかっただろう。お母さんは、ぼくにとって、一日中ずっとそばで見いてくれる、ぼくの気持ちをわかってくれる、そしてぼくと一緒に病気と闘ってくれる、まさに「相棒」だった。だから、ぼくはどんなに辛くても頑張れた。



ぼくは、マックのお家があって、本当によかったと思う。ぼくは、男の子だから、だれにも負けないくらい強いけれど、一日中ベッドからおりることのできないときは、心細いし、誰かそばにいてくれないと病気に負けそうになる。

ぼくは今も外来で治療を続けている。治療の前後にベッドで横になって休めたり、気持ちが悪くて、ご飯が夜中になってしまっても、お母さんが作った温かいご飯を食べれるマックのお家が大すきだ。病気だからといって、学校で友達に負けたくないから、マックのお家の図書室でお母さんと勉強もする。

マックのお家のお部屋がいっぱいで、泊まれない時があると、とてもショックだけど、これからも、いつも自分のお家にいる時みたいに、マックのお家で過ごすことができればいいなあと...と思う。

さ さ き かず おき
佐々木一興
(9才)



元 日本マクドナルド社員
女性活躍担当大臣
少子化対策・規制改革・行政改革
男女共同参画・国家公務員制度 担当

Former employee of McDonald's Company(Japan),Ltd
Minister in charge of Women's Empowerment
Minister in charge of Administrative Reform
Minister in charge of Civil Service Reform
Minister of State for Regulatory Reform
Minister of State for Measures for Declining Birthrate
Minister of State for Gender Equality

Member of the House of Councillors
参議院議員

Haruko Arimura

有村治子



ドナルド・マクドナルド・ハウスと歩みを共にして

国立成育医療研究センターに隣接する「せたがやハウス」。その後のドナルド・マクドナルド・ハウスのモデルとなる、日本で初めての試みでした。日本マクドナルドの藤田田社長を中心に、当時の経営陣においても「トップシークレット・サプライズ」で進められていたこのプロジェクトに、私も携わせていただくことは、文字通り、心からの喜びです。

その後約10年間、私はドナルド・マクドナルド・ハウス財団の理事を拝命し、財団の発展と歩みを共にして参りました。発起人であり大いなる推進者でもあられた故・藤田田会長が天国から見守られている財団は、マクドナルド店舗のお客様や社員・ご家族、関係企業やボランティアの皆さんの善意に支えられ、今では国内10ヶ所のハウスが病氣と闘うお子さんやファミリーを支える中核を担っています。マクドナルドの「地域に根差してこそ、ファミリー層に愛されてこそ!」という哲学が貫かれている証左です。

この温かい善意を広げるため、13年前、私は新人議員として乏しい知恵をひねり出し、与党の応援団を増やそうと現場視察を企画し、自民党税制調査会の最高幹部の前で手に汗して論陣を張り、難病を支援する民間の善意に応える税制改正の意義を訴え続けた経験は、課題解決力が問われる政治家としての実践的な糧となっています。

多くの皆さんの知恵と力で、財団の活動の輪が広がってきたことに、国務大臣として、また子育て中の母親の一人としても、心からの敬意と感謝の念を表します。

日本の未来を創るのは子ども達です。次代を担う子ども達が安心して医療を受けられるよう、またお子さんの笑顔を見て親御さんの安心が創られるよう、ご家族と医療関係者・ボランティアスタッフの架け橋であるドナルド・マクドナルド・ハウス財団の更なる発展を、衷心より念じております。

Donald McDonald House Setagaya located adjacent to National Center for Child Health and Development, was the first attempt of Donald McDonald Houses to provide its service in Japan and has served as a role model for following Houses. It is true pleasure for me to be involved in this project promoted under the leadership of then president Den Fujita of McDonald's Japan which was a top secret and surprise project even among the company's then management team.

Over the next 10 years or so I have walked to road of life with the development of Donald McDonald House Charities Japan as one of its board members. The foundation that late Den Fujita, its founder and promoter, has watched over from the heaven has been supported by the goodwill of customers of McDonald's restaurants, McDonald's employees and their families, associated companies and volunteers. Now 10 Houses in Japan are playing a central part in supporting children fighting diseases and their families. This fact proves McDonald's has adhered to its philosophy of "being community-based and loved by families".

To spread this warm goodwill, I used my ingenuity as a new member of Congress to plan a site visit to increase supporters in the ruling party 13 years ago, took a firm stand against the top executives of the LDP Research Commission on the Tax System and desperately tried to gain their understanding of the meaning of tax system reform to respond to the goodwill of private citizens supporting seriously sick children. This experience has helped me develop as a lawmaker whose ability to solve problems is called in question.

I would like to express my sincere respect and gratitude as a Minister of State as well as a mother raising 2 children for many people's wisdom and power which enabled us to expand the range of the foundation's activities.

It is children who will create the future of Japan. I sincerely hope the further development of DMHC Japan that serves as a bridge between sick children's families and medical staff and volunteers to ensure the children who will lead the next generation be able to receive medical treatment free from anxiety and their parents feel secure seeing their children's smiles.



Donald McDonald House
Charities Japan

Chairman

Masayoshi Yanagisawa

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・
ハウス・チャリティーズ・ジャパン

理事長

柳澤 正義



ドナルド・マクドナルド・ハウスがフィラデルフィアに誕生してちょうど40周年を迎えました。世界38か国347ハウスで年間30万時間を超えて活動するボランティアさんが同じ理念の下、毎日患者さんのご家族をお迎えしています。日本でも約1,600人のボランティアさんが9ハウスを支え、いままで35,177家族に利用されてきました。社会が医療を支えるこの事業は少しずつ輪を広げて認知され、まさに「ボランティアハウス」として成長してきました。また、このハウス事業は医療側からも医療上必要なもの、という認識をいただき、医療側のパートナーとして患者さんやそのご家族を支えています。

国際的にみれば、日本の健康水準は小児医療をみても、乳児死亡率は世界最低で世界に誇るべきものとなっていますが、小児がん医療体制の整備など多くの課題がのこされています。家から遠く離れた拠点病院への入院を余儀なくされる患者さんは多く、病氣の子どもを持つご家族の負担は増えこそすれ減ることはありません。限りある医療資源を有効活用するためには、社会の支援が必須です。明日の日本を創る子ども達の健やかな成長を見守るためには、社会の輪をもっと広げていかなければなりません。

ハウスを必要としている病氣の子どもやそのご家族はまだまだ沢山いますが、ハウスの建設と運営には多大な費用が必要です。日本マクドナルド株式会社をはじめ、多くの企業からのご寄付、マクドナルドの店舗内の募金箱に入れてくださる沢山の方々の善意に心からの感謝を申し上げるとともに、更に力強い寄付文化が育つことを祈念しております。



We celebrated the 40th anniversary of the opening the 1st Donald McDonald House in Philadelphia. Now volunteers who spend more than 300,000 hours in total helping 347 Houses in 38 countries welcome patient's families every day under the same philosophy. In Japan more than 1,600 volunteers support the 9 Houses which have been used by a total of 35,177 families.

This welfare project in which the society supports medical care has gained visibility steadily and has grown exactly as a "Volunteer House". The House project is now recognized by medical professions as a necessary initiative for medical care and supports patients and their families as a partner to the medical world.

Japan leads the world in the level of health as witness pediatric care with the lowest infant death rate in the world. Yet we still have many challenges including the improvement of our pediatric cancer treatment system. Since many patients have no other choice but to go to a hospital far away from their homes, burdens on their families may increase but never decrease. Social support is essential to effectively use limited medical resources. We must expand the circle of social support to watch over the healthy growth of children who create the future of Japan.

There are still many sick children and their families who need support from the Houses, and we need an enormous amount of money to build and operate a House. I would like to express my sincere gratitude for donations from many companies including McDonald's Japan and the goodwill of people who donate money in collection boxes at McDonald's restaurants, and hope a stronger culture of donation will be developed in this country.



Donald McDonald House
Charities Japan

Chief Executive Director

Osamu Hirose

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・
ハウス・チャリティーズ・ジャパン

専務理事

廣瀬 修

アメリカのフィラデルフィアにハウスが誕生して今年で40年です。数年前、私はこのフィラデルフィアのハウスを実際に訪問しました。大きくて立派な建物でありながら、地域のボランティアの皆さんのきめ細かい気遣いがハウスの端々に感じられ、とても感銘を受けたことを覚えています。滞在しているご家族はまるで我が家のようにくつろぎ、入院している子どもの看病に専念されていました。40年前にハウスの活動が始まり、各国でもハウスのニーズが高まり急速なスピードでハウスの数は増えていきました。そして日本でも2015年には国内で10号目となるハウスが福岡に誕生いたします。

このように私たちの財団はグローバルチャリティーであり、世界各国で病気の子どもたちとその家族を支援する活動が行われています。まだまだ欧米と比較をするとボランティアや寄付に対する考え方が遅れている部分もありますが、日本のハウスで活動するボランティアの人数、寄付をくださる企業が増えている現状からも着実にこの活動が根付いていることを私は実感しております。

今後はこれまで培ってきたノウハウや経験を生かし、病院の規模に関係なくきめ細やかなサポートを患者家族に提供できるように付き添い家族が休めるファミリーールームの設置等を検討し、さらに財団の活動の幅を広げていきたいと思います。

私はこれまでにいろんな団体を支援し、文化活動そして福祉の支援に携わってまいりましたが、病気の子ども達を支援しているこの事業は尊いライフワークの一部と感じております。これからも微力ではありますが、日本の寄付文化が欧米に追い付き、そして私どものこの活動が多くの方に理解していただけるように精一杯頑張っていきたいと思います。

今までご協力ご支援いただいた多くの皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

This year marks the 40th anniversary of the first Donald McDonald House in Philadelphia, the United States. I visited the place several years ago and I still remember I was so impressed by delicate, heartfelt consideration by local volunteers everywhere in the House despite the massive size of the magnificent building. Families who stayed there looked relaxed as if they were at home and concentrated on taking care of their children in the hospital. The charities for the Donald McDonald House started 40 years ago and the number of the House has since increased at a remarkable speed to meet growing needs for the facility. The 10th DMH in Japan will open in Fukuoka Prefecture in 2015.

Donald McDonald House Charities is a global charity organization and has been carrying out activities to support children suffering illness and their families around the world. Japan still has a lot of catching up to do with the U.S. and Europe in terms of how volunteer work and donation are perceived in the country. Nevertheless, I feel strongly that our activities are taking root steadily in Japan, given that the number of people working as volunteers for Donald McDonald Houses and the number of companies making donations to the Houses have been increasing in the country. We would like to develop a new program like “Family Room” to support pediatric care, using our knowledge in the near future.

I provided support to various types of organizations and involved in cultural activities and welfare in the past but I consider our ongoing activities to support children suffering illness are particularly invaluable and part of my lifework. I will continue to do my best to ensure that our activities will gain an understanding of a greater number of people and help Japan catch up with the U.S. and Europe in the spirit of donations.

I would like to express my sincere gratitude to many people who have been supporting us and ask for continued support.



Fukuoka City Mayor

Soichiro Takashima

福岡市 市長

高島 宗一郎

2015年3月、本当にたくさんの皆様の善意に支えられて、「ふくおかハウス」を開設することができました。ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンの皆様をはじめ、ふくおかハウス建設募金委員会の皆様、そして、建設資金への募金にご協力いただきました全ての皆様に、心から感謝申し上げます。

ふくおかハウスに隣接し、2014年11月に先行して移転・開院いたしました福岡市立こども病院は、小児の高度専門医療機関として、心臓外科手術では国内トップクラスの実績をあげるなど、九州・西日本一円から広く患者さんを受け入れています。病気と闘う上で、特に遠方から入院している子どもたちにとりましては、そばに寄り添い、支えてくれるご家族のサポートが何よりも大切であり、そのご家族が安心して滞在できる場所が必要です。しかし、移転前の滞在施設は部屋数が不十分で皆さんのニーズにお応えできておらず、規模を拡大するようご要望をいただいております。

今回、開設されたふくおかハウスでは従前の3倍以上となる16室が整備されておりますので、患者家族の皆様が慣れない土地で滞り場所の確保でご苦労されることなく、お子さんの付き添いに専念いただけるようになりました。ふくおかハウスは、子どもたちの1日も早い回復に大きく貢献するかけがえのない施設となると確信しております。

福岡市としましては、ふくおかハウスが、ボランティアや地域の皆様のご協力のもと、子どもたちとご家族の笑顔、喜びの声があふれる施設となりますよう支えてまいります。

最後になりますが、ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンのご活動への共感が広がり、より多くの方の支援の輪へとつながって、病気と闘う子どもたちとご家族の大きな支えとなりますことを心から祈念いたしております。

In March 2015, we have successfully opened “Donald McDonald House Fukuoka”, thanks to support of many well-intentioned people like you. I would like to express my deep gratitude for members of DMHC Japan, Fukuoka House Development Fund Raising Committee members, and everyone who made donations to the fund.

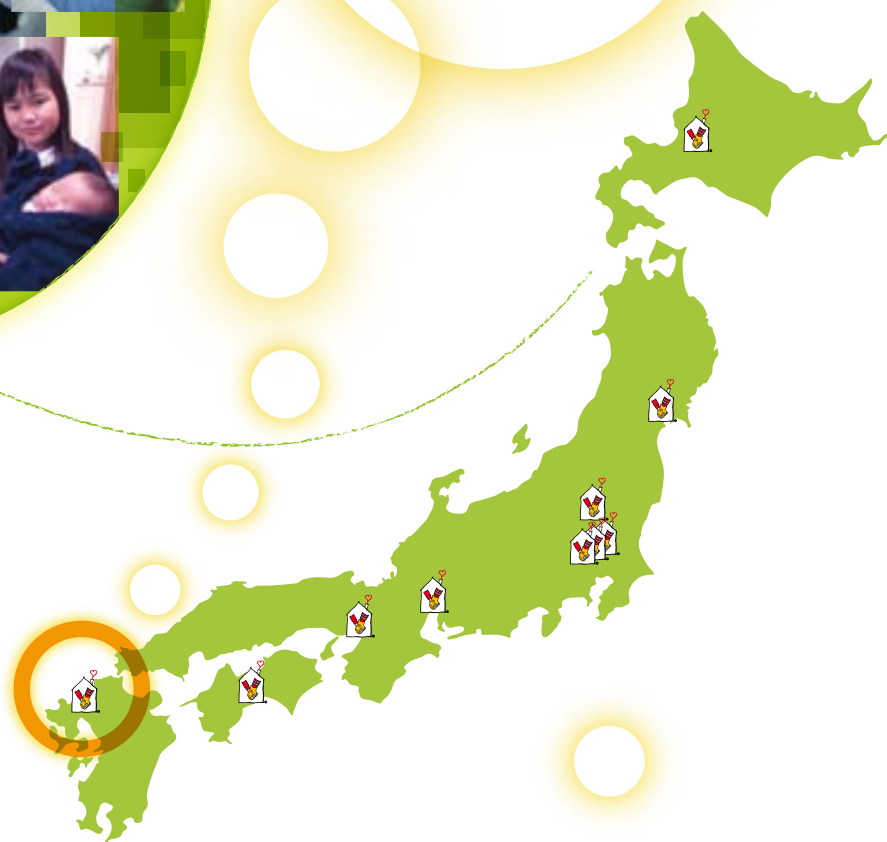
Fukuoka Children’s Hospital, located adjacent to DMH Fukuoka, had opened in November 2014, after being relocated from its former site. It is an advanced medical care facility exclusively for children, covering large areas including Kyushu and West Japan, with top of the class record in cardiovascular surgery in Japan. For children receiving treatment far away from home, support and companion of their families are essential when going through their treatments, but these families need comfortable accommodation to do so. Since our former accommodation facility didn’t have sufficient capacity, there had been demands for expansion of its capacity to meet user’s needs.

The new DMH Fukuoka has 16 bedrooms, a capacity that exceeds 300% of our former facility. We can now help families focus on care of their sick children, without worrying about finding accommodation in an unfamiliar town. I am confident that DMH Fukuoka will be invaluable facility in supporting recovery of sick children.

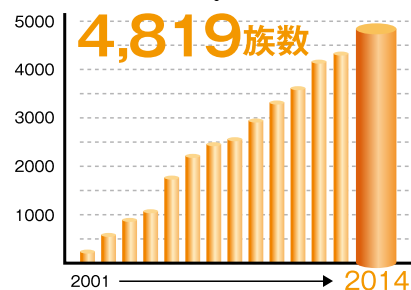
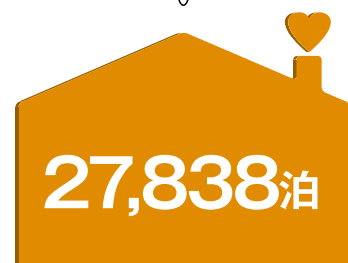
Fukuoka municipal government is also going to continue supporting DMH Fukuoka, with the help of volunteer staff and local citizens, to make the place filled with smiles and joys of children and their families.

I hope that more people will advocate activities of DMHC Japan, and expand circle of support to provide greater help for sick children and their families.

A heart-shaped collage of seven photographs showing a young girl in various settings: with friends, on a bed, in a room, holding a basket, at a McDonald's counter, and being held by an adult.



2014年
延べ利用家族数

2014年
総宿泊数

2014年
ボランティア活動時間数



施設概要

ハウス情報

- 延べ床面積:1,744.29㎡
- 規模:地上4階建て、地下1階
- ベッドルーム数:21室

Message



世田谷区 区長

保坂 展人

収支報告(単位:円)

▼ 支出	▼ 収入
給与手当 9,916,365	利用料収入 9,442,000
水道光熱費 7,890,373	寄付金収入 19,712,376
租税公課 4,632,900	会費収入 1,062,000
その他 6,753,345	財団からの補助金収入 18,295,640
次年度繰越金 19,712,376	その他 393,330
合計 48,905,359	合計 48,905,359

*次年度繰越金については2015年の増室・修繕工事にあてる予定です。

2014年実績

- 利用家族数:866家族
- 総宿泊数:6,288泊
- 平均滞在日数:7.3日
- ボランティア登録者数:159名
- ボランティア活動時間数:13,723時間

ドナルド・マクドナルド・ハウス

こうち

〒781-0111 高知県高知市池953-10
Tel. 088-837-3650 Fax. 088-837-3652

施設概要

2005年2月に誕生した国内第3号目の「こうちハウス」は同時期に開院した高知医療センターのそばに建てられました。高知医療センター内には母子医療センターがあり、ハウスには小児の患者家族が宿泊しています。

ハウス情報

- 延べ床面積：1,180.72㎡
- 規模：平屋建て
- ベッドルーム数：16室



Message



こうちハウスは2015年3月に10周年を迎え、小児がん・事故・急性の重篤な疾患などで長期間利用された方々が思い出されます。患者さん・両親・兄弟・祖父母に第2の我が家として利用して頂き、家族の絆を深め、それぞれの方に病気と闘う力を生み出してくれました。それは清潔で心地よい空間はもとより、スタッフやボランティアの温かい心に支えられています。これからも関係者が協力し患者さんや家族の力になり続けたいと思います。

高知医療センター 病院長

吉川 清志

収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当 8,189,560	利用料収入 1,105,000
水道光熱費 2,963,365	寄付金収入 1,582,021
租税公課 130,700	会費収入 459,000
その他 4,504,261	財団からの補助金収入 12,571,608
	その他 70,257
合計 15,787,886	合計 15,787,886

2014年実績

- 利用家族数：248家族
- 総宿泊数：789泊
- 平均滞在日数：3.2日
- ボランティア登録者数：107名
- ボランティア活動時間数：12,275時間

ドナルド・マクドナルド・ハウス

せんだい

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4-5-3
Tel. 022-391-1233 Fax. 022-392-5535

施設概要

2003年11月に誕生した国内第2号目の「せんだいハウス」は宮城県立こども病院のそばに建てられました。こども病院は160床あり、ハウスは主に東北地方からの患者家族が利用しています。

ハウス情報

- 延べ床面積：1,679.36㎡
- 規模：共有棟(平屋建て)、宿泊棟(2階建て)
- ベッドルーム数：16室



Message



宮城県では、障害のある子どもたちに医療・療育を提供する宮城県拓桃医療療育センターを宮城県立こども病院の隣に新築・移転することとし、今年度中の完成を目指して工事を進めております。これまで多くの患者家族に利用されてきた「せんだいハウス」は、今後ますますニーズが高まってくるものと思います。これからも、スタッフと多くのボランティアの方々の協力により、子どもたちとその家族に寄り添い、支える施設であることを期待しております。

宮城県 知事

村井 嘉浩

収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当 9,314,220	利用料収入 5,521,000
水道光熱費 8,147,386	寄付金収入 17,827,043
租税公課 1,689,800	会費収入 1,014,000
その他 6,604,705	財団からの補助金収入 18,781,122
次年度繰越金 17,827,043	その他 439,989
合計 43,583,154	合計 43,583,154

* 次年度繰越金については2015年のリフレッシュ工事にあてる予定です。

2014年実績

- 利用家族数：1,115家族
- 総宿泊数：3,813泊
- 平均滞在日数：3.4日
- ボランティア登録数：208名
- ボランティア活動時間数：17,233時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた

〒565-0875 大阪府吹田市青山台4-31-20
Tel. 06-6836-6551 Fax. 06-6831-7611

施設概要

2005年10月に誕生しました国内4号目の「おおさか・すいたハウス」は、国立循環器病研究センターの向かい側に建てられました。国立循環器病研究センターは小児病院ではありませんが、全国から心臓病の患児が入院または通院にきています。入院患者の家族の宿泊場所がなく困っていたことから病院および自治体からハウス建設の依頼を受け、ハウス建設が実現しました。

ハウス情報

- 延べ床面積: 1,292.88㎡
- 規模: 共有棟(平屋建て)、宿泊棟(2階建て)
- ベッドルーム数: 18室

Message



2005年に開設された「おおさか・すいたハウス」は、万博記念公園の近く、国立循環器病研究センターのすぐ目の前にあります。

センターで治療中の心臓などに病を抱えるお子さんやご家族の方々にとってかけがえのないハウスです。ハウスを訪ねると、いつもスタッフやボランティアの方々との明るい笑顔に癒されます。お子さんやご家族にとっても、彼ら/彼女らは心強い支えになっていると確信します。ご近所だけでなく、関西全域から学生さんや病院関係の方々もボランティアや見学に訪れます。そうした方々によって、ハウスの存在を知らない方々にも広げていただき、何かの形でハウスに協力したいという人の輪が広がって行くことを願っています。

私たちセンターも、ハウスがいつまでも皆さんの心の拠り所になれるよう、しっかり支えていきたいと思っています。

国立循環器病研究センター 企画戦略局長

三石 博之

収支報告 (単位:円)

▼支出		▼収入	
給与手当	8,846,443	利用料収入	7,336,000
水道光熱費	5,425,176	寄付金収入	4,068,252
租税公課	3,885,580	会費収入	1,227,000
その他	4,758,001	財団からの補助金収入	6,398,543
		吹田市補助金	2,653,980
		その他	1,231,425
合計	22,915,200	合計	22,915,200

2014年実績

- 利用家族数: 668家族
- 総宿泊数: 5,385泊
- 平均滞在日数: 8.1日
- ボランティア登録者数: 128名
- ボランティア活動時間数: 15,066時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ

〒329-0434 栃木県下野市祇園2-36-3
自治医大2号館3階
Tel. 0285-58-7551 Fax. 0285-44-4154

施設概要

2006年9月に誕生しました国内第5号目の「とちぎハウス」は自治医大とちぎ子ども医療センターの向かい側に開設されました。とちぎハウスは、自治医科大学の建物の一部を無償で借りし、県の補助金を使って大学側に内装整備していただいたニューモデルのハウスです。2013年には増室工事をを行い、7室だったハウスが10室になりました。

ハウス情報

- 延べ床面積: 652.9㎡
- 規模: 3階建ての3階部分
- ベッドルーム数: 10室

Message



今年度こども医療センター長を拝命しました。多くの方々の力によって築き上げられてきた子ども医療センターをさらに発展させるべく重責を感じております。子ども達と家族に寄り添う医療を行いつつ、最先端の医療も取り入れながら、患者さんのため、また小児医療の発展のために尽力していきます。とちぎハウスは、これまで子ども達とご家族の安らぎの場であると共に心の支えにもなってきたと思います。おかげ様で円滑な医療が行えて来たと思います。多くのボランティアの方々および各方面から御支援いただいている皆様方の多大なお力の賜物と感謝いたします。

増室もされ、より多くの方々に利用していただける様になりました。こども医療センターにとってなくてはならない存在であり、ともに発展していける様に支え合っていけたらと思います。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

自治医科大学とちぎ子ども医療センター センター長

山形 崇倫

収支報告 (単位:円)

▼支出		▼収入	
給与手当	8,607,758	利用料収入	3,306,000
水道光熱費	2,299,764	寄付金収入	5,687,529
その他	2,971,856	会費収入	865,000
次年度繰越金	1,966,846	運営費負担金	5,183,566
		その他	804,129
合計	15,846,224	合計	15,846,224

* 次年度繰越金については2015年のとちぎハウス運営費として使用します。

2014年実績

- 利用家族数: 392家族
- 総宿泊数: 2,321泊
- 平均滞在日数: 5.9日
- ボランティア登録者数: 295名
- ボランティア活動時間数: 16,725時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス

さっぽろ

〒006-0041 北海道札幌市手稲区金山1条1丁目2-5
Tel. 011-688-4533 Fax. 011-691-8866

施設概要

2008年12月に誕生しました国内第6号目の「さっぽろハウス」は北海道立子ども総合医療・療育センター（通称：コドモックル）の向かい側に開設されました。コドモックルは210床あり道内からの患者家族が利用しています。

ハウス情報

- 延べ床面積：994.2㎡
- 規模：平屋建て
- ベッドルーム数：10室



Message



弊社は、東日本全域に支店がありますが、まず最初に千葉支店が東大ハウスへの寄贈を行ったことを知り、私達北海道でもお手伝いできることはないかと調べたところ、さっぽろハウスがあるということを知り、その時からの付き合いとなります。初めてハウスに伺った時、施設を見学しながらいろんなお話を聞いて、施設を利用される皆さんの心に寄り添いたいという気持ちを強く持ち、今ではその気持ちを私達の多くの仲間が共感してくれています。ハウスマネージャーをはじめ、ボランティアの皆さんと一緒にいろんな形で笑顔の輪をひろげていきたいと思いますのでこれからもよろしくお願いします。

テルウェル東日本株式会社北海道支店 取締役北海道支店長

松崎 秀彦

収支報告（単位：円）

▼支出	▼収入
給与手当 8,191,976	利用料収入 3,306,000
水道光熱費 4,134,735	寄付金収入 2,580,515
租税公課 1,019,200	会費収入 423,000
その他 3,562,099	財団からの補助金収入 10,442,918
	その他 155,577
合計 16,908,010	合計 16,908,010

2014年実績

- 利用家族数：505家族
- 総宿泊数：2,163泊
- 平均滞在日数：4.3日
- ボランティア登録者数：250名
- ボランティア活動時間数：15,080時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス

ふちゅう

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2丁目9-2
東京都立多摩・小児総合医療センター宿泊棟1階
Tel. 042-300-4181 Fax. 042-325-2266

施設概要

2010年3月、東京都府中市に日本第7号目の「ふちゅうハウス」がオープンしました。東京都立小児総合医療センターの隣接地に建てられたハウスは、東京都の宿舎棟の1階部分にあり12家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積：688.3㎡
- 規模：5階建ての1階部分
- ベッドルーム数：12室



Message



ふちゅうハウスは、2010年3月オープン以来、東京都立小児医療センターの皆様をはじめとして、多くの方々のサポートを受け運営されて参りました。私は1984年にスタンフォード大学に隣接されているハウスを訪れた際に、スタッフ、地域のコミュニティ、大学病院、オーナーオペレーターが中心となり、小児医療で病気になったお子様への医療に加え、ご家族への支援が重要と言う主旨でOne Teamで運営されていた事にとても感激し、いずればそのような立場でサポートをしていけたらと思っておりました。幸いな事に2013年より、ふちゅうハウスのサポーターとして微力ながら運営のお手伝いができる事となりました。これからも支えて頂いている多くの皆様方と良い意味でコラボレーションをして最善を尽くしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

株式会社ビッグタイム 代表取締役

内田 章

収支報告（単位：円）

▼支出	▼収入
給与手当 8,914,421	利用料収入 4,341,000
租税公課 118,600	寄付金収入 1,481,997
その他 2,992,938	会費収入 285,000
	財団からの補助金収入 5,156,100
	その他 761,862
合計 12,025,959	合計 12,025,959

2014年実績

- 利用家族数：404家族
- 総宿泊数：3,115泊
- 平均滞在日数：7.7日
- ボランティア登録者数：143名
- ボランティア活動時間数：11,255時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス

東大

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東大構内
Tel. 03-3812-9877 Fax. 03-3812-9688

施設概要

2011年12月、日本で最初のハウスが誕生して10年を記念して、東京大学構内に日本第8号目の「東大ハウス」がオープンしました。東京大学医学部附属病院の構内に建てられたハウスは、4階建てで12家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積: 974.64㎡
- 規模: 4階建て
- ベッドルーム数: 12室



Message



東大ハウスは12月で3年目を迎えましたが年々稼働率が上がり、今ではなくてはならない施設となっております。特に外出許可の出た患者さんやICUに入院している患者家族などが、病院のそばにありすぐに通える施設としてかけがえの無い存在になっております。その貢献が評価され東京大学より稷門(しよくもん)賞が授与されました。今後も益々その重要度は増すばかりです。今後ともよろしくお願いいたします。

東京大学医学部附属病院 事務部 部長

竹田 幸博

収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当 8,748,533	利用料収入 4,164,000
水道光熱費 2,514,423	寄付金収入 4,958,026
租税公課 4,714,430	会費収入 567,000
その他 4,073,842	財団からの補助金収入 7,760,987
	運営補助金 2,000,000
	その他 601,215
合計 20,051,228	合計 20,051,228

2014年実績

- 利用家族数: 354家族
- 総宿泊数: 2,837泊
- 平均滞在日数: 8.0日
- ボランティア登録者数: 219名
- ボランティア活動時間数: 12,995時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス

なごや

〒466-0065 愛知県名古屋市中昭和区鶴舞町65
名大病院構内
Tel. 052-744-0203 Fax. 052-741-7707

施設概要

2013年11月に誕生した国内9号目となる「なごやハウス」は中部地方で初めてのハウスとして誕生しました。名古屋大学医学部附属病院構内に建てられたハウスは、3階建てで12家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積: 1,192㎡
- 規模: 3階建て
- ベッドルーム数: 12室



Message



病気と闘っている子どもや支援している家族をサポートする施設「我が家のようにくつろげる第2の家」として、2014年1月より稼働しましたが、施設を利用している患者さんの声から、家にいるように寛ぐことができた、居心地がよく子どもがハウスでの宿泊を楽しみにしていますなどの声が多数寄せられました。これもドナルド・マクドナルド・ハウスの関係者の皆様のおかげだと思います。今後ともよろしくお願い致します。

名古屋大学医学部附属病院 病院長

石黒 直樹

収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当 7,231,029	利用料収入 1,634,000
水道光熱費 2,774,821	寄付金収入 9,124,749
租税公課 8,056,900	会費収入 153,000
その他 10,178,717	財団からの補助金収入 2,049,505
	運営補助金 15,211,653
	その他 68,560
合計 28,241,467	合計 28,241,467

2014年実績

- 利用家族数: 267家族
- 総宿泊数: 1,182泊
- 平均滞在日数: 4.4日
- ボランティア登録者数: 194名
- ボランティア活動時間数: 10,382時間

フィラデルフィアストーリー



1974年、それはフィラデルフィアから始まりました。

アメリカンフットボール選手として活躍していたフレッド・ヒルの3歳の愛娘キムが白血病にかかり入院することになりました。娘の入院中、彼がそこで目の当たりにしたものは狭い病室で子どもの傍らに折り重なるようにして寝ている母親、やむなく病院の自動販売機で食事を済ませる家族の姿でした。病院の近くに家族が少しでも安らげる滞在施設ができないものかと考え、病院の近くにあるマクドナルドの店舗のオーナーや病院の医師、フットボールチームの仲間の協力を得て募金活動が進められました。



そして1974年、世界で最初の دونالد・マクドナルド・ハウスがフィラデルフィアに誕生しました。その後も活動の輪がどんどん広がり、世界中で350近くのハウスが開設され、日々病気の子どもとその家族をサポートしています。

フレッド・ヒルと娘のキムちゃんからは、「病気になったことは悲しい出来事だったけど、ハウスが誕生してたくさんの家族の救いになっていることはとても嬉しい。」との言葉が届いています。



スマイルソックスはサポーターのしるし！



10月15日、Donald・McDonald・House 40歳の誕生日となりました。

40周年をお祝いし、より多くの人に知って頂けるよう、ハウスの支援の輪を広げようと、世界各国の人たちがDonaldとお揃いのスマイルソックスを履いて、ハウスを応援しました。またツイッターやFacebookなどでもサポーターがスマイルソックスを履いた写真をのせてハウスへの支援を呼びかけました。



オープンハウス報告

今年も地域みなさんにハウスを知って頂くために各ハウスにてオープンハウスが開催されました。スマイルソックスで来場者をお出迎えし、ハウスの飾りつけにも赤白を取り入れ、お祝いました。

せたがやハウス

開催日：10月19日(日) 募金総額：1,013,140円
入場者数：407名

今年は弘前青年会議所とのタイアップが実現しました。弘前青年会議所の方がハウスに滞在したことがきっかけとなり、青森でのハウスの告知活動を広げていき、今回のオープンハウスでは、桜の花びらにご家族へのメッセージを書いて作成された桜の樹を贈呈していただき、さらに青森物産展での協力をいただきました。



せんだいハウス

開催日：9月28日(日) 募金総額：103,368円
入場者数：246名

はじめてのオープンハウスでは、宮城県立こども病院三浦克志先生にアレルギーの基礎知識や食物アレルギー患者に対する食物負荷試験の内容などのお話があり、イベントでは東北ドラムサークルがドラムで盛りあげ、キッズコーナーも大盛況でした。



こうちハウス

開催日：10月25日(土) 募金総額：533,248円
入場者数：350名

チャリティーコンサートなどハウスを支援してくれている「HALCAN」コンサート、アイゴッソ高知選手との交流では中庭で子どもたちが一緒にサッカーゲームを楽しみました。



とちぎハウス

開催日：12月13日(土) 募金総額：267,960円
入場者数：273名

チャリティービンゴ大会、バザー、手作りピザ・揚げパン募金、リレーコンサートなどハウスを支援するたくさんの方達の協力があり、多くの方に来場いただけました。地域の温かみもあり、ハウスをより知って頂ける一日になりました。



ふちゅうハウス

開催日：10月18日(土) 募金総額：112,711円
入場者数：85名

今年もお隣の府中看護専門学校の学校祭に合わせ、同時開催しました。スタッフはスマイルソックスに靴までお揃いにして、新たな企画を取り入れてオープンハウスを盛り上げました。



おおさか・すいたハウス

開催日：10月18日(土) 募金総額：1,220,000円
入場者数：650名

4回目のオープンハウスは初心に戻り「みんなで楽しむ」をテーマに取り組みました。金欄千里中・高校のボランティア部はみんなでペットボトルのキャップでハウスのロゴマークを作製してハウスにプレゼントしてくれました。



さっぽろハウス

開催日：10月18日(土) 募金総額：565,696円
入場者数：440名

今年は何とんでも札幌コンサドーレの小野伸二選手と河合選手が子ども達やご利用者にエールを送るためサプライズで登場してくださいました。また、駐車場の外のスペースを利用して、よさこい、吹奏楽の演奏会が行われ、町内会による野菜の直売コーナーや販売も行われました。



なごやハウス

開催日：7月6日(日) 募金総額：281,754円
入場者数：172名

なごやハウスにとって初めてのオープンハウスとなりました。天まで届け!七夕の笹飾りのイベントには、たくさんの方の来場者のみなさまに願いを書いていただきました。



Special Project

募金プロジェクト

せんだいハウス

リフレッシュ募金プロジェクト

せんだいハウスは開設より10年が経過し、リフレッシュ工事が必要となりました。その費用は2,000万円。この費用を募金で集めるために宮城県立こども病院の林院長に代表世話人となっていただき「リフレッシュプロジェクト募金委員会」を立ち上げ、募金活動を展開しています。

こども病院と関連のある登録医療機関や東北6県の医療機関に支援のお願いをしました。学生ボランティアが中心となって寄付をお願いする手紙

を郵送しました。「アメリカに住んでい

た時にDonald・マクドナルド・ハウスの運営を支援するプロジェクトに関わっていたことがあり、よくハウスに通っていた」と寄付をしてくださった福島の医療法人など多くの方にご支援いただいています。ハウスを利用したご家族やマクドナルドのフランチーズオーナーやロータリークラブ、国際ソプロチミスト仙台、ハウスを支援いただいている企業の皆様としてこども病院職員と病院ボランティアの皆さん。多くの皆様のご協力により2014年12月末現在17,338,560円のご寄付が集まっています。2,000万円目標達成まで頑張ります。



せたがやハウス

増室工事募金プロジェクト

せたがやハウスは、2001年に国内第1号のハウスとして誕生し、これまで8,500以上ものご家族が利用されました。しかし、満室のために利用できなかったご家族がたくさんいらっしゃいます。一家族でも多くの方にハウスを利用してほしいとの願いから、ベッドルームを2室増やし21室から23室へ、さらにご家族が安心して看病に専念で

きるように修繕工事を行うための募金活動を展開しました。代表世話人として国立成育医療研究センターの五十嵐総長に立ち上がっていただき、保坂世田谷区長など多くの世話人に加わっていただきました。みなさまの温かいご支援により、2014年12月末現在¥21,526,065の募金を集めることができました。今後も3,000万目標達成まで継続していきます。



「著名な方のハウス訪問」

今年も多くの著名人が全国のハウスを訪問してくださいました。病氣と闘っている子どもたちは笑顔で彼らを迎え、そしてたくさんの勇気をもらうことができました。

1/26
(日)

せんだいハウス

楽天イーグルス 栢田慎太郎選手



3/24
(月)

東大ハウス

読売ジャイアンツ 高橋由伸選手



5/3
(土)

なごやハウス

プロゴルファー 深堀圭一郎プロ



9/11
(木)

とちぎハウス

横綱 日馬富士関



9/14
(日)

とちぎハウス

シンガーソングライター より子さん



10/18
(土)

さっぽろハウス

札幌 コンサドーレ 小野伸二選手、河合竜二選手



12/4
(木)

東大ハウス

読売ジャイアンツ 高橋由伸選手、大田泰示選手



12/22
(月)

せたがやハウス

埼玉西武ライオンズ 中村剛也選手



12/24
(水)

東大ハウス

俳優 石丸幹二さん





「各地でチャリティーゴルフを開催」

ドナルド・マクドナルド・ハウスの支援を目的としたチャリティーゴルフ大会が各地で開催され多くの方にご参加いただきました。プレイだけでなく、ワンオンチャリティーやオークションなどが行われ、皆様に楽しくご参加いただきました。

● 第16回ドナルド マクドナルド ハウス チャリティーゴルフ

12月15日(月) 総勢148名 募金総額8,200,000円

● 西日本合同チャリティーゴルフ大会

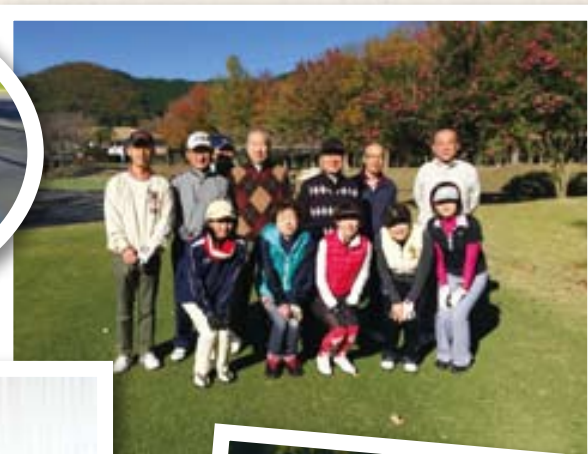
6月5日(木) 総勢36名 募金総額210,000円

● せたがやハウス増室募金 チャリティーゴルフ

9月25日(木) 総勢33名 募金総額300,775円

● 東大ハウス チャリティーゴルフ

11月14日(金) 総勢40名 募金総額257,002円



「アメリカンフットボールチームのサポート」

世界最初のフィラデルフィアハウスは、アメリカンフットボール選手だったフレッド・ヒルの愛娘が病気になる、チームメイトが募金活動を始めたのがきっかけでした。このストーリーが縁となり、日本でも「ユニコーンズ」そして「東京ガスクリエイターズ」がハウスをサポートしています。

ユニコーンズ

慶應義塾大学のアメリカンフットボールチーム。定期的にハウスの掃除活動を行っています。今年は初めて試合会場にてハウスの募金活動を行い、試合を観に来られた多くの方にもご協力いただき支援の輪が広がりました。

東京ガスクリエイターズ

東京ガスアメリカンフットボールチーム。試合のたびにハウスの募金活動を行い、さらにハウスへの理解を深めるために選手の皆さまが東大ハウスを訪問され、ハウスで必要な物品を寄付してくださいました。



「RMHC APMEAコンベンション in 香港」

3月24日(月)～27日(木)、2年に1度開催されるハウス関係者のコンベンションが香港で開催されました。アジアパシフィックエリアの関係者150名が参加し、情報交換や事例発表が行われました。期間中にアジアで最初に誕生した香港ハウスを訪問したり、各国の関係者と交流し多くを学ぶことができました。



ボランティア活動費の助成

難病児およびその家族を支援する福祉、医療分野におけるボランティアへの助成事業を行い、11団体に助成をしました。

助成先団体	助成金額
Wonder Art Production	200,000 円
Life Camp	200,000 円
大田おもちゃライブラリーじゃりかふえ	150,000 円
心魂プロジェクト	150,000 円
特定非営利活動法人ていあら	150,000 円
Eince 子供応援隊	150,000 円
NPO 法人スマイル横浜	100,000 円
音楽の宅急便	100,000 円
特定非営利活動法人おひさま	80,000 円
特定非営利活動法人 AL サインプロジェクト	70,000 円
特定非営利活動法人クックルー・ステップ	50,000 円
助成総額	1,400,000 円

助成先からの報告



私たち心魂プロジェクトは劇団四季、宝塚歌劇団出身者を中心としたパフォーマーが、難病などの理由で劇場に行くことが困難な方へできるだけ無償で病院や施設に「生のパフォーマンス」デリバリーするために立ち上げた団体です。
今回は、サマーキャンプ2014がんばれ共和国七夕(宮城)でのデリバリーパフォーマンスを実施しました。参加された難病の子どもとご家族の方々は、ミュージカルを観るのが初めての方が驚くほど多く、日常と離れた体験に大変喜んでくださいました。普段ベッドから動くことの難しい子ども、感情を表すことも難しい子ども達が生の音楽に対してとても表情豊かに楽しんでくれました。そしてそんな子ども達の反応を見て涙ぐむ親御さんたちが多くいらっしゃいました。
病気の子どものご家族は劇場だけでなく、遊園地で遊ぶなど楽しむこと自体から離れ、必死で毎日を過ごしていらっしゃいます。私たちは病気と向き合って生きる本人、ご家族にこそ「ワクワク」「癒し」「時には涙を流したり」が必要だと考えています。現在多くの病院、施設、難病関係の団体から講演の依頼を頂いています。プロのアーティストが継続的にこのような活動を行うことが大切であると考えています。

心魂プロジェクト 代表 寺田真実



赤見内 銀次(楽天イーグルス)

ハウスを訪問するたびにいつも勇気をもらい、もっとがんばろうという気持ちが、自然と湧き上がってきます。ハウスには病氣と闘う子ども達とご家族を、応援し励ますやさしさが満ち溢れています。私は子どもたちが大好きです。みなさんには野球で精一杯頑張り努力する姿をお見せします。今シーズンは首位打者を取ってハウスに戻ってきたいと思っています。そして、子ども達と子ども達を支える人々の笑顔のために、もっともっと支援の輪をひろげてゆきたいと考えています。これからもずっとずっとハウスを応援してゆきます。

銀次



東尾 理子

私は以前アメリカにいた頃にドナルド・マクドナルド・ハウスのことを知りました。日本に戻り、少しでもサポートができないかと考えていたところ、声をかけて頂き、ドナルド マクドナルド ハウス チャリティゴルフに出場させて頂いています。

最近は子を持つ親として、以前にもまして活動を身近に感じるようになりました。病氣と闘う子ども達に付き添い、共に闘うご家族の為に“Home away from home (我が家のようにくつろげる第二の家)”を提供しているドナルド・マクドナルド・ハウスは、病院と密接に関わっているため本当に24時間年中無休。そんなハウスの運営を支えているのがボランティアの方達のケアと私達からの寄付です。

心強いサポーターであるハウスを支えるために、これからも私にできる形で、支援の輪を広げて行きたいと思っています。

子どもたちの笑顔が世界中で溢れる事を祈っています。

Riko Higashi

家族からのメッセージ

ひなた
齋藤 陽くん 2歳 長野県 せたがやハウス

祖母と上の子と一緒にハウスに滞在したため、毎日ドア越しに姉弟のふれあいも出来き、上の子との時間も作ることができました。子どもの術後の付添いで、寝不足で倒れそうなきは祖母と交代しハウスで休めました。入院は親にとっても大変なことです。ハウスに滞在することで子どものそばにいれば、親も休める時間もあったって本当に助かりました。



いっしん
河村 一心くん 1歳 滋賀県 おおさか・すいたハウス

生後2週間の時に生きているのが奇跡と言われた息子ですが、術後にはハイハイ、伝い歩きと驚く成長を見せています。病気が分かった時は、現実も受け入れられない状況でしたが、ハウスでお母さん達と交流を持つことができ、病気のこと、これからのことなどアドバイスも頂けて、ハウスで知合ったお母さんたちの繋がりはすごく貴重な存在です。



はるま
田中 陽真くん 3歳 栃木県 とちぎハウス

2〜3ヶ月に一度のペースで通院していますが、薬の種類も減り、制限なく元気に生活できています。本人もだいぶ言葉をしゃべるようになり、一日中しゃべって、にぎやかです。「イヤイヤ期」を謳歌しているようです。



さな
矢田 彩南ちゃん 0歳 徳島県 おおさか・すいたハウス

ハウスは「第2の我が家」です。緊張と不安の中ハウスに戻ると安心でき、ボランティアさんはまるで母と話しているかのような安心感がありました。4度の手術を乗り越えてきた娘。今後も手術は必要ですが、通院時にハウスの前を通るとハウスで過ごした日々が思い出されて胸があつくなります。



さなみ
山田 紗菜実ちゃん 5歳 愛知県 せたがやハウス

娘は何十回という手術、そして長い入院生活を送る中、やっと日常生活へ戻れる期待の矢先に脳梗塞にて意識を失い、リハビリに励む中、成育医療研究センターでの手術を決めました。娘は慣れない環境での手術を乗り越え、退院することができました。手足の障害は少しありますが、元気に保育園に通っています。手術を乗り越え大きくなった娘は保育園ではお友達とお話したり遊んだりできるようになりました。東京での生活を前向きに送れ、娘の前では笑顔でいられたことはハウスのおかげだと思っています。



ゆいか
井上 結加ちゃん 15歳 鳥取県 東大ハウス

3回の手術を終え、まだ通院、手術は続きますが、4月から花の女子高校生。ハウスでは好きな時間に洗濯できたり、夜はベッドでゆっくり休めたりと本当に快適な毎日でした。そして、ハウスの方の笑顔に元気をもらいました!今日も頑張ろうと自分の中にゆとりもでき、とても良い時間を過ごさせてもらえました。



えみか
小田 愛実花ちゃん 1歳 新潟県 せたがやハウス

スタッフのみなさまの優しいお言葉で遠くから来た疲れもなくなり、とても居心地よく過ごすことができます。ハウスを利用するたびに心が休まります。



けいた
山内 敬太くん 4歳 栃木県 せたがやハウス

最愛の息子の敬太は笑顔が可愛い男の子です。自らの力で体を動かすことも話することもできないので、息子の表情やサインを感じとりながら常日頃関わり合いをもっています。気持ちが沈んでしまう子どもの入院中も食事・掃除・洗濯など日々の生活は送らなければいけない中、親の身体や気持ちの負担を考え、最大限の手助けをしてくれたのがハウスでした。



吉村 こころちゃん 1歳 北海道 さっぽろハウス

通院はしていますが、毎日元気に過ごしています!入院生活が長かったり通院が多いからか、先生が大好き!ニコニコのこころは、ゆっくりですが成長を見せてくれています。「当たり前」の成長が当たり前ではない我が子ですが、一つ一つの成長に感動しています。



ゆうと
藤本 勇斗くん 2歳 滋賀県 おおさか・すいたハウス

初めてハウスを利用した時は、慣れない環境で大変でしたが、ボランティアさんの優しさを感じることができ、ご家族とも交流ができて気持ちが少し落ち着きました。自分一人ではないんだと思えるようになって嬉しかったです。



さら
東 咲空ちゃん 5歳 熊本県 せたがやハウス

熊本からの転院だったので心配と不安でいっぱいでしたが、娘が起きる前に病院に行き、寝てからハウスへ戻るという生活ができて本当に助かりました。



はるき
高野 晴輝くん 1歳 栃木県 とちぎハウス

半年ごとの通院(経過観察)をしています。ストローも使えるようになり、自分で欲しい分飲めるようになりました。毎日元気に遊びまわっています。ハウスでの優しい心遣いが心に染みしました。



正味財産増減計算書

一般正味財産増減の部

平成26年1月1日から平成26年12月31日まで（単位：円）

科 目			当年度	前年度	増 減
1 経常増減の部	(1)経常収益	①財産運用収入	630,005	630,000	5
		基本財産運用収入	630,005	630,000	5
		特定資産運用収入	0	0	0
		②ハウス事業収入	87,249,050	50,734,755	36,514,295
		宿泊料収入	40,155,000	39,956,000	199,000
		運営補助金収入	42,567,699	7,702,480	34,865,219
		その他の収入	4,526,351	3,076,275	1,450,076
		③寄附金収入	314,224,545	326,079,358	△ 11,854,813
		寄附金収入	208,190,910	179,485,908	28,705,002
		募金収入	106,033,635	146,593,450	△ 40,559,815
	④会費収入	6,055,000	6,117,272	△ 62,272	
	⑤その他収入	3,435,951	1,901,726	1,534,225	
	配当金収入	450,000	450,000	0	
	雑収入	2,985,951	1,451,726	1,534,225	
	経常収益計	411,594,551	385,463,111	26,131,440	
	(2)経常費用	①事業費	262,711,958	240,480,829	22,231,129
		1. ハウス事業運営費	261,243,958	238,682,149	22,561,809
		給料手当	77,960,305	72,292,316	5,667,989
		光熱水料費	36,150,043	32,130,254	4,019,789
		租税公課	24,248,110	19,989,710	4,258,400
		減価償却費	73,259,404	62,930,233	10,329,171
		その他の経費	46,399,767	46,323,272	76,495
		事業関連経費	3,226,329	5,016,364	△ 1,790,035
		2. ボランティア事業	1,468,000	1,798,680	△ 330,680
		ボランティア助成費	1,450,000	1,768,000	△ 318,000
		旅費交通費	18,000	18,000	0
		会議費	0	12,680	△ 12,680
		②管理費	100,674,220	81,455,783	19,218,437
		給料手当	37,893,416	31,879,908	6,013,508
		旅費交通費	3,676,238	3,107,154	569,084
会議費		664,821	378,158	286,663	
通信運搬費		66,090	28,900	37,190	
減価償却費		1,147,912	1,534,741	△ 386,829	
消耗品費		16,007,882	19,807,338	△ 3,799,456	
印刷製本費		8,920,962	2,503,290	6,417,672	
催事費		19,486,393	12,270,372	7,216,021	
諸謝金		1,490,252	1,181,046	309,206	
租税公課		0	0	0	
雑費		11,320,254	8,764,876	2,555,378	
経常費用計		363,386,178	321,936,612	41,449,566	
当期経常増減額		48,208,373	63,526,499	△ 15,318,126	
2 経常外増減の部	(1)経常外収益	有価証券評価益	0	6,030,000	△ 6,030,000
		経常外収益計	0	6,030,000	△ 6,030,000
	(2)経常外費用	有価証券評価損	0	0	0
		指定正味財産への振替額	0	0	0
		経常外費用計	0	0	0
		当期経常外増減額	0	6,030,000	△ 6,030,000
		当期一般正味財産増減額	48,208,373	69,556,499	△ 21,348,126
		一般正味財産期首残高	2,335,051,241	2,265,494,742	69,556,499
		一般正味財産期末残高	2,383,259,614	2,335,051,241	48,208,373

指定正味財産増減の部

一般正味財産からの振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	522,680,900	522,680,900	0
指定正味財産期末残高	522,680,900	522,680,900	0
正味財産期末残高	2,905,940,514	2,857,732,141	48,208,373

貸借対照表

平成26年12月31日現在（単位：円）

科 目				当年度	前年度	増 減
Ⅰ 資 産 の 部	(1)流動資産	現金		1,884,779	2,218,028	△ 333,249
		普通預金		252,825,392	48,024,249	204,801,143
		郵便貯金		15,077,676	134,059,625	△ 118,981,949
		未収金		0	0	0
	流動資産合計			269,787,847	184,301,902	85,485,945
	(2)固定資産	基本財産	基本財産定期預金	300,000,000	300,000,000	0
			基本財産土地	222,680,900	222,680,900	0
			基本財産合計	522,680,900	522,680,900	0
		特定資産	ハウス建設積立資金	0	0	0
			特定資産合計	0	0	0
		その他の 固定資産	建物	1,985,998,504	1,698,354,276	287,644,228
			構築物	27,340,822	9,293,661	18,047,161
			什器備品	17,804,023	17,036,692	767,331
			ソフトウェア	1,032,025	2,179,937	△ 1,147,912
			電話加入権	76,440	76,440	0
			建設仮勘定	138,943,700	383,629,497	△ 244,685,797
			定期預金	0	0	0
			投資有価証券	0	40,305,000	△ 40,305,000
			その他の固定資産合計	2,171,195,514	2,150,875,503	20,320,011
			固定資産合計	2,693,876,414	2,673,556,403	20,320,011
資産合計			2,963,664,261	2,857,858,305	105,805,956	
Ⅱ 負 債 の 部	(1)流動負債	未払金	57,384,716	0	57,384,716	
		預り金	339,031	126,164	212,867	
		流動負債合計	57,723,747	126,164	212,867	
	(2)固定負債	固定負債合計	0	0	0	
負債合計		57,723,747	126,164	212,867		
Ⅲ 正 味 財 産 の 部		①指定正味財産 (うち基本財産への充当額)	522,680,900 (522,680,900)	522,680,900 (522,680,900)	0	
		②一般正味財産 (うち基本財産への充当額)	2,383,259,614 0	2,335,051,241 0	48,208,373	
		(うち特定資産への充当額)	0	0		
		正味財産合計	2,905,940,514	2,857,732,141	48,208,373	
		負債及び正味財産合計	2,963,664,261	2,857,858,305	48,421,240	

財産目録

平成26年12月31日現在（単位：円）

科 目			当年度	前年度	増 減		
Ⅰ 資 産 の 部	(1)流動資産	現金預金					
		現 金		1,884,779			
		普通預金	現金手許有高	804,763			
			みずほ銀行新宿新都心支店	39,279			
			みずほ銀行成城支店	15,822			
			杜の都信用金庫宮城町支店	4,566			
			四国銀行高須支店	27,352			
			リそな銀行千里北支店	11,339			
			足利銀行自治医大出張所	251,796,891			
			三井住友銀行麹町支店	57,998			
	(2)固定資産		北海道銀行新川中央支店	8,560			
			多摩信用金庫西国分寺支店	363			
			東京都民銀行春日支店	58,459			
			三菱東京UFJ銀行鶴舞支店	15,077,676			
			郵便貯金				
			流動資産合計		269,787,847		
		(2)固定資産	①基本財産				
			定期預金	あおぞら銀行本店	300,000,000		
			土 地	東京都世田谷区大蔵	222,680,900		
			基本財産合計		522,680,900		
	②特定資産						
	ハウス建設積立資金 定期預金		※1	0			
ハウス建設積立資金 普通預金	※1		0				
特定資産合計			0				
③その他の固定資産							
建 物	※1		1,985,998,504				
構築物	※1	27,340,822					
什器備品	※1	17,804,023					
ソフトウェア会計ソフト及びホームページ		1,032,025					
電話加入権		76,440					
建設仮勘定	※1	138,943,700					
投資有価証券	※2	0					
マクドナルド株式		2,171,195,514					
その他の固定資産合計			2,693,876,414				
固定資産合計							
資産合計				2,963,664,261			
Ⅱ 負 債 の 部	(1)流動負債	未払金	ふくおかハウス建設未払	※3	57,384,716		
		預り金	源泉所得税	※3	339,031		
		流動負債合計				57,723,747	
		負債合計					57,723,747
		正味財産					2,905,940,514

※1… 公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。 ※2… 公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に供している。 ※3…流動資産に対応する負債

役員・選考委員名簿

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
その他の有価証券…決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は総平均法により算定）によっている
- (2) 固定資産の減価償却について
建物、構築物、什器備品及びソフトウェア…定額法によっている
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
●基本財産 土地 定期預金	222,680,900 300,000,000	0 0	0 0	222,680,900 300,000,000
小 計	522,680,900	0	0	522,680,900
●特定資産 ハウス建設積立資金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	522,680,900	0	0	522,680,900

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応する額
●基本財産 土地 定期預金	222,680,900 300,000,000	(222,680,900) (300,000,000)	0 0	0 0
小 計	522,680,900	(522,680,900)	0	0
●特定資産 ハウス建設積立資金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	522,680,900	(522,680,900)	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,477,893,252	491,894,748	1,985,998,504
構 築 物	42,324,638	14,983,816	27,340,822
什器備品	92,377,002	74,572,979	17,804,023
ソフトウェア	12,552,440	11,520,415	1,032,025
合 計	2,625,147,332	592,971,958	2,032,175,374

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

名称ならびに交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
●基本財産 運営補助金(RMHC)	0	35,975,219	35,975,219	0
運営補助金(自治医大)	0	1,938,500	1,938,500	0
運営補助金(吹田市)	0	2,653,980	2,653,980	0
運営補助金(好仁会)	0	2,000,000	2,000,000	0
合 計	0	42,567,699	42,567,699	0



役 職	氏 名	所 属
理 事 長	柳澤 正義	独立行政法人国立成育医療研究センター 名誉総長
専 務 理 事	廣瀬 修	社会福祉法人恩賜財団済生会 評議員
常 務 理 事	河野辺 孝則	常勤
理 事	大野 晃 村上 陽一郎 鶯橋 誠一 ティム ブレット 炭谷 茂 小関 誠 安田 智彦 五十嵐 隆 青木 岳彦	森永乳業株式会社 代表取締役会長 東京大学、国際基督教大学 名誉教授 スターゼン株式会社 代表取締役会長 日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長 社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長（元環境事務次官） AIU損害保険株式会社 代表取締役社長 兼 CEO フジパングループ本社株式会社 代表取締役会長兼社長 独立行政法人国立成育医療研究センター 理事長・総長 日本小児科学会 会長 日本マクドナルド株式会社 執行役員人事担当
監 事	二村 隆章 吉野 賢治	公認会計士 公認会計士
評 議 員	西村 由美子 残間 里江子 ジェフリー・マクニール 宮田 佳代子 後藤 亘 大熊 由紀子 南 砂 桃井 真里子 佐藤 仁志 好本 一郎 門脇 孝	オーガストネットワークインク 代表 プロデューサー Market Makers Inc. 代表取締役社長 フリーキャスター 株式会社エフエム東京 名誉相談役 国際医療福祉大学大学院 教授 読売新聞東京本社 取締役 調査研究本部長 国際医療福祉大学 副学長 日本マクドナルドホールディングス株式会社 代表取締役 上席執行役員 シミックホールディングス株式会社 代表取締役 執行役員 東京大学大学院医学系研究科 教授
選 考 委 員	丸木 一成 栗山 真理子 阪井 裕一 小見山 智恵子	国際医療福祉大学 常務理事 NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」 専務理事 独立行政法人国立成育医療研究センター 総合診 部長 東京大学医学部附属病院 看護部長

(2015年4月現在)

サポーター紹介

Gold Sponsor



Silver Sponsor



アクアクララレモンガスグループ

株式会社いいこと



株式会社オカダ



クオリティフーズ株式会社



KENKO



COVIDIEN



シオノギ
社会貢献支援会

ジボダン ジャパン
株式会社



マクドナルド全国フランチャイズ
オーナー会

ソニー PCL
株式会社

大昭和紙工産業
株式会社



株式会社ドリーム



株式会社ノモト



株式会社富士エコー



有限会社ベルエキップ

株式会 T&H



MITSUI & CO.,LTD.



Bronze Sponsor

株式会社AOI Pro
株式会社 DLX
株式会社GOOD VIBES
H&K JAPAN 株式会社
HAVIサプライチェーン・ソリューションズ・ジャパン合同会社
Kerry Japan 株式会社
Landsing Industrial Co., Ltd.
THAI DELMAR CO.,LTD
UCC上島珈琲株式会社
アイキッズ株式会社
株式会社赤福
株式会社アクネスラボ
朝日新聞社 広告部
味の素ペーカリー株式会社
株式会社アズマ油脂
アツヴィ合同会社
株式会社阿部内装
株式会社アムズ
株式会社アメリカ
あやめサービス 有限会社
株式会社アルゴ
有限会社アルファイン
医療法人五十嵐小児科
株式会社伊佐建設
医療法人慶信會 石塚醫院
伊藤ハム株式会社
株式会社イナ・ペーカリー
株式会社イノメディックス
医療法人社団青香会 上杉医院
医療法人社団恭謹会 上杉皮膚科医院
株式会社ウエル企画
株式会社ヴォイスワーク
医療法人おおきこどもクリニック
株式会社大矢運送
医療法人おひげせんせいのこどもクリニック
カゴメ株式会社
有限会社木更津油脂
有限会社キノシタ
有限会社ケイ・エス・テクニクス
国立成育医療研究センター 総合診療部一同
株式会社小松崎
株式会社コヤマドライビングスクール ボランティアクラブ
有限会社サエキ
自治医科大学第42回薬師祭実行委員会
医療法人ゆうあい会 しんやしき産婦人科
すこやかレディースクリニック
株式会社スコレー
スターティア株式会社
セーバートラベルネットワーク
一般社団法人世田谷区医師会
仙台コカ・コーラボトリング株式会社
仙台総合放射線クリニック
株式会社仙台にしむら
株式会社 仙台にしむら従業員一同
仙台東ロータリークラブ
大同印刷株式会社
株式会社タカコーポレーション
医療法人武田内科医院
一般社団法人玉川医師会
株式会社電通
東罐興業株式会社
東京コカ・コーラボトリング株式会社
合名会社徳永商店
都市クリエイト株式会社
栃木県軽自動車協会
なごや中部ブロックオーナー会
日世株式会社
日発販売株式会社
第56回日本小児神経学会学術集会
株式会社ニュートラル
株式会社ハーベスト
医療法人はしもと小児科

株式会社ハタノ製作所
パナソニックシステムネットワークス株式会社システムソリューションズジャパンカンパニー
株式会社はまた
公益社団法人弘前青年会議所
ヒロフーズ株式会社
フォンテラブランド株式会社
株式会社吹上技研コンサルタント
福岡大同青果株式会社
株式会社フジカワ
株式会社ヘルス
株式会社北英ガッツ
ホシザキチャリティクラブ
ほそや小児科
2014年度 北海道フランチャイジー ドナルドハウスチャリティーゴルフ大会
有限会社ホット・ショツト
株式会社マルマサフード
南町通り オープンギャラリー くろすろーど
株式会社宮崎
睦化学工業株式会社
株式会社明治
株式会社メディチュア
メロディアン株式会社
守口歯科クリニック
株式会社遊
有限会社ユニオン商事
株式会社読売巨人軍
株式会社読売新聞 東京本社 中部支社
リフレッシュ

Bronze Sponsor (個人)

Michael & Janet Azhadi

青木 岳彦
青木 雪枝
赤津 修
麻田 宏紀・裕子
阿南 浩樹
五十嵐 隆
石川 一男
石黒 結香
石塚 ミフユ
石丸 幹二
板倉 佳代
伊藤 実
稲垣 鉄矢
今井 功二
鷗橋 誠一
浦田 篤
遠藤 康樹・悠樹・由美子・和洋
遠藤 綾亮
大河内 亨子
大原 富子
大矢 幸弘
大山 誠
賀藤 均
龜山 久美子
河野辺 孝則
北田 善保
木村 純子
工藤 蓮三
國本 竜生
黒川 善和
小泉 清則・雅子
古賀 正人
小久江 知洋
齋藤 由美子
齋藤 怜子
齋藤 陽
佐々木 琢磨
佐藤 俊夫・順子
信田 孝夫
柴田 一生
島田 浩三

志村 進・眞里子
菅沼 和弘
鈴木 剛
鈴木 恵美子
瀬戸山 恵
園田 次男・恵美子
高橋 智恵子
竹内 久雄
竹中 利文・優・希・初
谷仲 明
玉井 宏明
辻元 次郎
辻元 千鶴
ツツミ コージ
堤 厚誌
寅川 敦史
鳥潟 美夏子
永井 豊
中井 洋史
中浦 雅子
中尾 寛・佳奈子
中島 京子
NAKASHIMA FAMILY
長瀬 淑子
中西 あずさ
西田 省三・紀子
西村 仁
西脇 徹
野中 圭樹
橋本 幸紀
橋本 良男
原田 泳幸
原本 俊則
菱沼 秀仁
平尾 直昭
植田 泰正
深堀 圭一郎
北東 哲也・美苗・澪
堀川 美和子
本坊 雄一
前川 喜平・道子
松葉 克浩
松本 謙一
三小田 晋久
水落 博之
宮下 建治
宮原 篤
村島 温子
村田 雅夫
森崎 菜穂
森田 純子
守屋 圭・りか
谷田部 優
山田 彰男
山中 園里
山中 輝弓
山本 昌(中ドラゴンズ)
山元 徹
山本 博三
吉田 裕子
吉武 篤志
吉野 賢治
若松 直哉・小織・蒼也・立希
渡辺 明彦
渡辺 政弘
渡辺 優

(50音順)



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

〒163-1339 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー39階

TEL:03-6911-6068 FAX:03-6911-6198

www.dmhcj.or.jp